

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	聴覚検査Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	三年次		学期及び曜時限	前期 金曜1限他	教室名	404教室 他
担 当 教 員	糸賀 亜美	実務経験と その関連資格	医療福祉センターに勤務し、小児への言語聴覚療法の実務経験がある。			
《授業科目における学習内容》						
他覚的聴覚検査について、その理論を学び各種検査・訓練方法を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験(100点)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
【教科書】「聴覚検査の実際」南山堂						
《授業外における学習方法》						
講義内容を復習しノートにまとめる。検査においては、習熟するため自主的に練習する。						
《履修に当たっての留意点》						
聴覚検査の演習では、教材作成室で実施する。オーディオメーターを準備する。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	他覚的聴覚検査の概要が理解でき、説明できる。 ティンパノメリーの理論について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	講義内容を復習しノートにまとめる。	
	各コマにおける授業予定	他覚的聴覚検査の概要 インピーダンスオーディオメーター①(ティンパノメリー) 教科書P93～103				
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ティンパノメリーの実施方法を理解し実施できる。	教科書 プリント	講義内容を復習しノートにまとめる。検査に習熟するため自主的に練習する。	
	各コマにおける授業予定	インピーダンスオーディオメーター②(ティンパノメリー) 教科書P93～103				
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ティンパノメリーの実施方法を理解し実施できる。	教科書 プリント	講義内容を復習しノートにまとめる。検査に習熟するため自主的に練習する。	
	各コマにおける授業予定	インピーダンスオーディオメーター③(ティンパノメリー) 教科書P93～103				
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	アブミ骨筋反射検査の理論について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	講義内容を復習しノートにまとめる。検査に習熟するため自主的に練習する。	
	各コマにおける授業予定	インピーダンスオーディオメーター①(アブミ骨筋反射検査) 教科書P93～103				
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	アブミ骨筋反射検査の実施方法を理解し実施できる。	教科書 プリント	講義内容を復習しノートにまとめる。検査に習熟するため自主的に練習する。	
	各コマにおける授業予定	インピーダンスオーディオメーター②(アブミ骨筋反射検査) 教科書P93～103				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	耳音響放射の理論、実施方法について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	講義内容を復習シートにまとめる。
		各コマにおける授業予定	耳音響放射(教科書P132~138)		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	聴性誘発反応の種類、理論について理解でき、説明できる。	教科書 プリント	講義内容を復習シートにまとめる。
		各コマにおける授業予定	聴性誘発反応(教科書P119~131)		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	講義内容を復習し、過去問題を解き、解説できる。	教科書 プリント	講義内容を復習シートにまとめる。
		各コマにおける授業予定	まとめ、国家試験過去問題、解説		